

設計図書内「独自代価」における諸雑費の端数処理方法について

上越市ガス水道局において設定している「独自代価」の工種について、
「諸雑費」の端数処理方法については以下のとおり。

①代価表(歩掛表に率でない諸雑費があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように端数を計上する。

②代価表(歩掛表に諸雑费率があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように原則として所定の
諸雑费率以内で端数を計上する。一部、歩掛表の途中で計上するものもある。

以下の「諸雑費コード表」のとおり計上している。

諸雑費コード表

工種コード	名 称	諸 雑 費 率 表 記	諸雑費コード	端数処理
SX0501	鋼管切断工(エンジンカッター)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0612	穿孔取出(铸铁管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0613	穿孔取出(鋼管・PE管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SY0301	X線検査工(ガス)	(機械+消耗費+労務費)×10%	Z1000Z3	有効4桁
SX0604	漏洩・漏水防止金具打工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0303	保護管設置工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(低圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(中圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0302	塗覆装工(熱収縮チューブ)	φ 50-100:5%, φ 150-500:6%, φ 600以上:8%	Z4002Z2	有効4桁
SX0625	電気溶接工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0614	ターミナル取付工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0903	デテクター検査費	労務費×20%	Z4002Z7	有効4桁
SX0902	管内清掃工(ビグ清掃)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2000	遮断バイパス工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管低圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管中圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2010	遮断バイパス工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4000	遮断工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4005	遮断工事(鋼管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4010	遮断工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX0904	耐圧気密検査費	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁
SX0904	気密検査費(低圧)	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁

(770004-0)

本 工 事 費 総 括 表								
工種：開削工事及び小口径推進工事等								
費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費				式	1			
共通仮設費								
	共通仮設費率計算額			式	1			
	共通仮設費 積上額計			式	1			
		運搬費		式	1			
			積上運搬費	式	1			第6号明細表, A5000//1
		技術管理費		式	1			
			積上検査費	式	1			第7号明細表, A6000//1
純工事費								
	現場管理費			式	1			
		現場管理費率計算額		式	1			
工事原価								

(770004-0)

本 工 事 費 総 括 表								
工種：開削工事及び小口径推進工事等								
費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	一般管理費等			式	1			
		一般管理費率計算額		式	1			
		契約保証費		式	1			
工事価格								
	消費税相当額			式	1			
本工事費								

「週休2日適用工事」における補正係数を用いた諸経費率の算出方法について

令和8年4月以降

間接工事費

共通仮設費率の端数処理について

共通仮設費率(補正前) 算定式 $Kr = A \cdot P^b$

ただし、Kr: 共通仮設費率(%) ※小数第3位を四捨五入し、第2位とする

P: 対象額(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

共通仮設費率(週休2日補正後) = (共通仮設費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※共通仮設費率の補正にあたっては、補正前の共通仮設費率(Kr)に施工地域補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とし、さらに週休2日補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とする。

現場管理費率の端数処理について

現場管理費率(補正前) 算定式 $Jo = A \cdot Np^b$

ただし、Jo: 現場管理費率(%) ※小数第3位を四捨五入し、第2位とする

Np: 対象純工事費(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

現場管理費率(週休2日補正後) = (現場管理費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※現場管理費率の補正にあっても、補正前の現場管理費率(Jo)に施工地域補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とし、さらに週休2日補正係数を乗じて小数第3位を四捨五入し、第2位とする。

◎留意事項

設計額算出時の週休2日に係る補正対象は、労務費・市場単価・標準単価・間接工事費率とする。

労務費の補正対象は、公共事業労務費調査対象の51 職種及び電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工、技術者(下水道)に加え、ステンレス溶接工及びガスX線検査工の一部単価(X線検査 技術員・補助)とする。

ただし、ステンレス溶接工及びガスX線検査工の一部単価(X線検査 技術員・補助)は、週休2日補正後の労務単価を見積徴取しているため、週休2日補正係数は乗じないものとする。

また、水道X線検査工の一部労務費(技師A及び技師B)は補正対象外とする。

予定価格算出にあたっては、上越市ガス水道局「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和8年4月)実施要領【土木工事】を確認し算出すること。

労務費	単価根拠	補正の有無	補正の方法
51 職種及び電気通信技術者、 電気通信技術員、機械設備据付工、 技術者(下水道)	県単価	有	補正係数を乗じる
ステンレス溶接工、 X線検査 技術員、X線検査 補助	見積	有	見積額に含む
技師A、技師B	県単価	無	—

間 接 工 事 明 細 書 (当初)

週休2日補正有
月単位

令和8年度(春)
R 8 年度[春]
適用地区： 上越⑤

基準適用
単価適用

計 算 根 拠 式

費 目	計 算 根 拠 式													
共通仮設費 (率計算額)	率計算額	＝対象額×（標準率×地域補正）×係数 ＝ <div>×（<div>%×</div>）×</div>		週休2日補正係数 地域補正係数 ○										
	対象額	＝直接工事費－（管材費／2）＋支給品費－（管材費（支給品費）／2） ＋無償貸付機械等評価額＋事業損失防止施設費＋処分費（準備費）－処分費控除額 ＋加算額－減算額 ＝ <div>－（<div>／2）＋</div>－（<div>／2）</div><div>＋<div>＋</div>＋<div>－</div>－</div><div>＋<div>－</div></div> 処分費控除額＝ 処分費等（直工＋準備）÷対象額＝構成比<>3% ÷＝%<>3%</div>		<table><tr><th>施工地域・工事場所区分</th><th>補 正 係 数</th></tr><tr><td>一般交通影響あり①</td><td></td></tr><tr><td>一般交通影響あり②</td><td>○</td></tr><tr><td>市街地</td><td></td></tr><tr><td>山間僻地及び離島</td><td></td></tr></table>	施工地域・工事場所区分	補 正 係 数	一般交通影響あり①		一般交通影響あり②	○	市街地		山間僻地及び離島	
	施工地域・工事場所区分	補 正 係 数												
	一般交通影響あり①													
	一般交通影響あり②	○												
市街地														
山間僻地及び離島														
現場環境改善費 (率計算額)	率計算額	＝対象額×（標準率＋補正率）×係数 ＝ <div>×（<div>%＋</div>%）×</div>		現場環境改善費補正率 %										
	対象額	＝直接工事費－（管材費／2）－処分費等（直工） ＋支給品費 －（管材費（支給品費）／2）＋無償貸付機械等評価＋加算額－減算額 ＝ <div>－（<div>／2）－</div>＋<div>－（<div>／2）＋</div>＋<div>－</div></div></div>												
現場管理費 (率計算額)	率計算額	＝対象純工事費×（標準率×地域補正＋冬期補正率）×係数 ＝ <div>×（<div>%×</div>＋<div>%）×</div></div>		週休2日補正係数 地域補正係数 ○										
	対象純工事費	＝純工事費－（管材費／2）＋支給品費－（管材費（支給品費）／2） ＋無償貸付機械等評価額－処分費控除額＋加算額－減算額 ＝ <div>－（<div>／2）＋</div>－（<div>／2）</div><div>＋<div>－</div>＋<div>－</div>－</div><div>／2</div></div>		<table><tr><th>施工地域・工事箇所区分</th><th>補 正 係 数</th></tr><tr><td>一般交通影響あり①</td><td></td></tr><tr><td>一般交通影響あり②</td><td>○</td></tr><tr><td>市街地</td><td></td></tr><tr><td>山間僻地及び離島</td><td></td></tr></table>	施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数	一般交通影響あり①		一般交通影響あり②	○	市街地		山間僻地及び離島	
	施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数												
	一般交通影響あり①													
	一般交通影響あり②	○												
市街地														
山間僻地及び離島														
		冬期補正率 %												
一般管理費 (率計算額) 契約保証費	率計算額	＝対象工事原価×（標準率×前払補正率）×係数－端数調整額 ＝ <div>×（<div>%×</div>）×</div> －		前払補正率 <table><tr><th>前払金支出割合区分</th><th>0%から5%以下</th><th>5%超15%以下</th><th>15%超25%以下</th><th>25%超35%以下</th></tr><tr><th>補正係数</th><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ※35%超40%以下（補正なし）の場合 ○	前払金支出割合区分	0%から5%以下	5%超15%以下	15%超25%以下	25%超35%以下	補正係数				
	前払金支出割合区分	0%から5%以下	5%超15%以下	15%超25%以下	25%超35%以下									
	補正係数													
	契約保証費	＝対象工事原価×契約保証補正 ＝ <div>×</div> %		契約保証補正率 %										
	対象工事原価	＝工事原価－処分費控除額＋加算額－減算額 ＝ <div>－</div> ＋ <div>－</div>		<table><tr><th>保証の方法</th><th>補正值(%)</th></tr><tr><td>金銭的保証</td><td>○</td></tr><tr><td>役務的保証</td><td></td></tr></table>	保証の方法	補正值(%)	金銭的保証	○	役務的保証					
保証の方法	補正值(%)													
金銭的保証	○													
役務的保証														

(770004-0)

直接工事費内訳書

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
多雪消火栓設置工事								Y11001//1
	材料費		多雪型消火栓設置 N=1基 HPPE φ 75 L=4.7m	式	1			第1号明細表, AZ1002//1
	布設費		多雪型消火栓設置 N=1基 HPPE φ 75 L=4.7m	式	1			第2号明細表, AZ1004//1
	土木費		多雪型消火栓設置 N=1基 HPPE φ 75 L=4.7m	式	1			第3号明細表, AZ1003//1
直接仮設費								Y11001//2
	水道直接仮設費			式	1			第4号明細表, AZ1004//2
	交通誘導員			式	1			第5号明細表, AZ1004//3
直接工事費計								

(770004-0)

材料費 1式当り明細表							種別： 多雪型消火栓設置 N=1基					
第1号明細表の1							形状： HPPE φ 75 L=4.7m					
AZ1002-0000-01							備考：					
名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
配水用ホ	リエチレン管	φ 100×5000		m.	2						L410100 刊行物	
配水用ホ	リエチレンパイプ (EF受口付)	φ 75×5000		m.	3						G801075 刊行物	
EF継手 (両受) 径違いチース		φ 100× φ 75		個	1						L440101 刊行物	
EF継手	ソケット	φ 75		個	2						L420075 刊行物	
EF継手 (両受) 90° ベント		φ 75		個	1						L460075 刊行物	
EF受口付フランジ (ルースフランジ FCD)		φ 75 7.5K		個	1						L4B2075 刊行物	
メカカルジョイント (HPPE-VP)		φ 100		個	2						L763100 見積	
挿し口付ソフトシル仕切弁FCD		φ 75 内外面粉体 7.5K 内ねじ		個	1						F0I0075 刊行物	
消火栓		多雪消火栓 副弁付:BNP付		基	1						F210077 見積	
共通円型ボックスセット (水道) 除雪対応型		LJTVJ5TD-81H17K同等品		組	1						H010030 見積	
FRP筒		(単)筒 B-800		本	1						H050005 見積	
合	計			式	1							

(770004-0)

第1号明細表の2
AZ1002-0000-01

材料費 1式当り明細表

種別： 多雪型消火栓設置 N=1基
形状： HPPE φ 75 L=4. 7m
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
単 位 当 り			1			

(770004-0)

第2号明細表の1 AZ1004-0000-01							種別： 多雪型消火栓設置 N=1基 形状： HPPE φ 75 L=4. 7m 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
ホ°リエチレン管切断工		φ 75	口	3			第1号表, SS0457//1 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管切断工		φ 100	口	2			第2号表, SS0457//2 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管据付工		φ 75mm	m	3. 9			第3号表, SS0350//1 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管据付工		φ 100mm	m	2. 1			第4号表, SS0350//2 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管継手工		φ 75mm 融着 (EF) 継手・両受	口	6			第5号表, SS0360//1 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管継手工		φ 75mm 融着 (EF) 継手・片受	口	2			第6号表, SS0360//2 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管継手工		φ 100mm 融着 (EF) 継手・両受	口	2			第7号表, SS0360//3 水道事業実務必携	
ホ°リエチレン管 (メカニカル継手) 継手工		φ 100mm	口	4			第8号表, SS0365//1 水道事業実務必携	
仕切弁設置工 (人力)		φ 75mm	基	1			第9号表, SS0480//1 水道事業実務必携	
消火栓設置工 (機械)		機械 多雪型	基	1			第10号表, SX0608//1 複合代価 (水道事業実務必携)	
共通円形BOX設置工 (祓`式)			基	1			第11号表, SX0615//1 独自代価	
ロケティングワイヤー (ホ°リエチレン管)			m	6. 8			第12号表, SS1230//1 水道事業実務必携	

(770004-0)

第2号明細表の2
AZ1004-0000-01

布設費 1式当り明細表

種別：多雪型消火栓設置 N=1基

形状: HPPE $\phi 75$ L=4.7m

備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
埋設表示シート布設（水道管）	（リサイクル品）	m	6.8			第13号表, SX0619//1 複合代価（水道事業実務必携）
管明示テープ工（水道・ポリエチレン管用）	φ75×5m 胴巻4箇所 天端明示無し	m	4.7			第14号表, SY1220//1 複合代価（水道事業実務必携）
管明示テープ工（水道・ポリエチレン管用）	φ100×5m 胴巻4箇所 天端明示無し	m	2.1			第15号表, SY1220//2 複合代価（水道事業実務必携）
保護管設置工	φ150 HI-VP（保護管）	m	1			第16号表, SX0303//1 独自代価
消火栓撤去工（機械）	地上式 単口	箇所	1			第17号表, SS0525//1 水道事業実務必携
鋳鉄管継手取外し工	フランジ 7.5K 75mm	口	1			第18号表, SY0136//1 水道事業実務必携
硬質塩化ビニル管切断工	φ100	口	2			第19号表, SS0455//1 水道事業実務必携
硬質塩化ビニル管切断工	φ75	口	2			第20号表, SS0455//2 水道事業実務必携
硬質塩化ビニル管撤去工	φ100mm	m	2.1			第21号表, SS0321//1 水道事業実務必携
硬質塩化ビニル管撤去工	φ75(65)mm	m	4.7			第22号表, SS0321//2 水道事業実務必携
ビニル管廃材処理費	処分先A	t	0.02			第23号表, SX0206//1 独自代価
合 計		式	1			

(770004-0)

第2号明細表の3
AZ1004-0000-01

布設費 1式当り明細表

種別： 多雪型消火栓設置 N=1基
形状： HPPE φ 75 L=4. 7m
備考：

名	称	規	格	単位	数	量	単	価	金	額	摘	要
単	位	当	り		1							

(770004-0)

第3号明細表の1 AZ1003-0000-01		土木費 1式当り明細表					種別： 多雪型消火栓設置 N=1基 形状： HPPE φ 75 L=4. 7m 備考：	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
人力積込		土砂		m3	3			第24号表, SP12080//1 県積算基準
床掘り 土砂		現場制約あり		m3	3			第25号表, SP12110//1 県積算基準
舗装版破碎 コンクリート舗装版		15cm以下 騒音振動対策不要 障害無 積込有		m2	2			第26号表, SP1D110//1 県積算基準
舗装版切断 アスファルト舗装版		舗装厚:15cm以下		m	10			第27号表, SP1D210//2 県積算基準
舗装版切断 コンクリート舗装版		舗装厚:15cm以下		m	4			第28号表, SP1D210//1 県積算基準
コンクリート 無筋・鉄筋構造物		人力打設18-8-25(20) W/C≤65% (高炉) 一般養生 小運搬無		m3	0.1			第29号表, SPZ5010//1 県積算基準
不陸整正		6mm以上11mm未満 AS再生クラッシャーラン 40(RC混合)		m2	9			第30号表, SPZB010//3 県積算基準
バックホウ掘削積込		BH クローラ型 山積0. 28m3排ガス2次		m3	6			第31号表, SS1000//1 水道事業実務必携
舗装版取り壊し積込工		0cm超え10cm以下 BH クローラ山積0. 28m3排ガス2次		m2	16			第32号表, SS1040//1 水道事業実務必携
路床工(洗砂)		人力投入 1層max仕上厚20cm		m3	2			第33号表, SX1001//2 複合代価(県積算基準)
路床工(再生クラッシャーランRC-40)		人力投入 1層max仕上厚20cm		m3	0.4			第34号表, SX1001//3 複合代価(県積算基準)
路床工(洗砂)		山積0. 28m3 1層max仕上厚20cm		m3	3			第35号表, SX1300//6 複合代価(水道事業実務必携)

(770004-0)

第3号明細表の2 AZ1003-0000-01		土木費 1式当り明細表					種別： 多雪型消火栓設置 N=1基 形状： HPPE φ 75 L=4.7m 備考：	
名 称		規 格		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路床工(改良土40(改良土E))		山積0.28m3 D I D区域外 0.5km 4t積 1層max仕上厚20cm		m3	2			第36号表, SX1300//5 複合代価(水道事業実務必携)
産廃運搬処理 アスファルト殻運搬工		バックホ 山積0.28m3 4t積 L=13km D I D区域外 廃材プラント (G)		m3	0.6			第37号表, SXG0020//5 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
産廃運搬処理 コンクリート殻(無筋)運搬工		バックホ 山積0.13m3 2t積 L=17km D I D区域外 廃材プラント (G)		m3	0.5			第38号表, SXG0020//6 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
発生土処理		バックホ 山積0.28m3 4t積 L=19km 改良分 D I D区域外		m3	2			第39号表, SXG0030//7 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
発生土処理		人力 2t積 L=16km 発生土処分先(E) D I D区域外		m3	3			第40号表, SXG0030//6 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
発生土処理		バックホ 山積0.28m3 4t積 L=19km 発生土処分先(E) D I D区域外		m3	4			第41号表, SXG0030//5 複合代価(県積算基準・水道事業実務必携)
上層路盤工		仕上り厚 15cm 1層(幅1.8m未満) 再生クラッシャーラン RC-40		m2	1			第42号表, SY1050//5 水道事業実務必携
上層路盤工		仕上り厚 15cm 1層(幅1.8m未満) ARC 40 (RC混合)		m2	7			第43号表, SY1050//7 水道事業実務必携
表層工(人力施工)		粗粒度アスコン (20) 瀝青材散布なし 小型車 仕上厚4cm 歩道 砂無		m2・1層	7			第44号表, SY1070//2 水道事業実務必携
表層工(人力施工)		密粒度アスコン (13F) プライムコート 小型車 仕上厚4cm 歩道 砂無		m2・1層	9			第45号表, SY1070//4 水道事業実務必携
舗装版切断 アスファルト舗装版		舗装厚:15cm以下		m	4			第27号表, SP1D210//2 県積算基準
構造物とりこわし工		無筋構造物 時間制約無 夜間無 人力施工 対策無 月単位		m3	0.3			第46号表, SYS0361//3 県積算基準

(770004-0)

第3号明細表の3
AZ1003-0000-01

土木費 1式当り明細表

種別： 多雪型消火栓設置 N=1基
形状： HPPE φ 75 L=4. 7m
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(770004-0)

第4号明細表
AZ1004-0000-02

水道直接仮設費 1式当り明細表

種別：
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水替工	50m/m 水中ポンプ	日	1			第47号表, SX0900//1 下水道用設計標準歩掛表
ポンプ据付撤去	50m/m	箇所	1			第48号表, SX0901//1 下水道用設計標準歩掛表
軽量鋼矢板たて込み引抜き(機械施工)	掘削深2.0m以下 設置+撤去 設置BH0.28 2次、撤去BH0.28 2次	m	1.2			第49号表, SY0020//2 水道事業実務必携
支保工 (軽量金属製)	掘削深2.0m以下(1段) 設置+撤去 軽量金属腹起し/水压ホース1.1m超～1.5m以下	m	1.2			第50号表, SY0060//1 水道事業実務必携
鋼矢板・軽量鋼矢板賃料	軽量鋼矢板 使用回数1回 重量0.2t 補助工法無	式	1			第51号表, SX0800//1 供用日数7日 実務必携・県積算基準
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(770004-0)

第5号明細表
AZ1004-0000-03

交通誘導員 1式当り明細表

種別：
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 B	実働8時間(交替要員無し)	人	11.5			R4400 県単価(RR0804)
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(770004-0)

第6号明細表 A5000-0000-01		積上運搬費 1式当り明細表				種別： 形状： 備考：
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設材積込・取卸し費	基地積込→現場→基地取卸	t	0.2			第76号表, SY9800//1 水道事業実務必携
仮設材運搬	割増なし 12m以内 運搬距離10kmまで	t	0.4			第77号表, SY9700//1 水道事業実務必携
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(770004-0)

第7号明細表
A6000-0000-01

積上検査費 1当り明細表

種別：
形状：
備考：

名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
通水試験工(1日未満)	既設管と連絡して給水車が不要 φ150以下	m	4.7			第78号表, SS0705//1 水道事業実務必携
合 計			1			
単 位 当 り			1			